

令和3年度 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 成果報告会

開催日 令和4年3月10日(木) 13:00~17:00

会場 オンライン形式

—————プログラムのご案内—————

13:00	開会・挨拶 松浦 重和(文部科学省研究開発局原子力課 課長) 山名 元(原子力損害賠償・廃炉等支援機構 理事長/本事業プログラムディレクター)
13:10	英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業について 岡本 孝司(日本原子力研究開発機構福島研究開発部門福島研究開発拠点 廃炉環境国際共同研究センター センター長)
13:30	【パネルディスカッション1】 テーマ: 微粒子関連の研究開発 ・研究紹介(5分×3 課題=15分) ・研究代表者とニーズ側関係者(※)との総合討論(20分) ・参加者との質疑応答(5分)
14:10	休憩(10分)
14:20	【パネルディスカッション1】 テーマ: 計測・遠隔技術関連の研究開発 ・研究紹介(5分×3 課題=15分) ・研究代表者とニーズ側関係者(※)との総合討論(20分) ・参加者との質疑応答(5分)
15:00	休憩(10分)
15:10	終了課題及び実施課題の研究内容に関するQA(公開動画への質問等)
15:40	休憩(10分)
15:50	【パネルディスカッション3】 テーマ: 廃棄物関連の研究開発 ・研究紹介(5分×3 課題=15分) ・研究代表者とニーズ側関係者(※)との総合討論(20分) ・参加者との質疑応答(5分)
16:30	全体討論
16:55	閉会挨拶

※東京電力HD、JAEAを予定

〔パネルディスカッション参加課題〕

【1】 テーマ：微粒子関連

課題名	研究代表（所属機関）
レーザー加工により発生する微粒子の解析と核種同定手法の開発	長谷川秀一（東京大学）
燃料デブリ取出し時における放射性核種飛散防止技術の開発	鈴木 俊一（東京大学）
アルファダストの検出を目指した超高位置分解能イメージング装置の開発	黒澤 俊介（東北大学）

【2】 テーマ：計測・遠隔技術関連

課題名	研究代表（所属機関）
先端計測技術の融合で実現する高耐放射線燃料デブリセンサーの研究開発	萩原 雅之（高エネルギー加速器研究機構）
再臨界前の中性子線増に即応可能な耐放射線 FPGA システムの開発	渡邊 実（岡山大学）
拡張型スーパードラゴン多関節ロボットアームによる圧力容器内燃料デブリ調査への挑戦	高橋 秀治（東京工業大学）

【3】 テーマ：廃棄物関連

課題名	研究代表（所属機関）
燃料デブリ取出しに伴い発生する廃棄物のフッ化技術を用いた分別方法の研究開発	渡邊 大輔（日立 GE ニュークリア・エナジー）
アパタイトセラミックスによる ALPS 沈殿系廃棄物の安定固化技術の開発	竹下 健二（東京工業大学） ※塚原代表の代理
高い流動性および陰イオン核種保持性を有するアルカリ刺激材料の探索と様々な放射性廃棄物の安全で効果的な固化	佐藤 努（北海道大学）

※所属機関は、終了課題は課題終了時の所属機関となります